

Ⅱ-6 生け垣調査

1. 生け垣の現況

	(H16)		(H26)
○生け垣の総延長	8,256m	→	18,402m
○生け垣の箇所数	226箇所	→	469箇所

町丁目ごとの生け垣箇所数と総延長、前回調査（2004（平成16）年度）との経年変化を表Ⅱ-6-1に、生け垣の分布図を図Ⅱ-6-1にそれぞれ示す。なお、生け垣については、原則として接道部延長が20m以上のものが対象である。区全体で469箇所、総延長は18,402mとなった。前回調査と比較して、箇所数で243箇所、延長で10,146mの増加があり、いずれも2倍以上となっている。

表Ⅱ-6-1 生け垣の町丁目別経年変化

番号	町丁目名	平成16年度調査		平成26年度調査		増減		番号	町丁目名	平成16年度調査		平成26年度調査		増減	
		箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)			箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)
1	駒場1丁目	1	45	7	229	6	184	45	目黒本町1丁目	1	40	3	107	2	67
2	駒場2丁目	1	40	1	38	0	-2	46	目黒本町2丁目	3	160	19	755	16	595
3	駒場3丁目	0	0	2	76	2	76	47	目黒本町3丁目	1	20	2	70	1	50
4	駒場4丁目	3	195	6	424	3	229	48	目黒本町4丁目	4	148	5	189	1	41
5	青葉台1丁目	1	80	1	103	0	23	49	目黒本町5丁目	4	80	6	180	2	100
6	青葉台2丁目	2	60	2	65	0	5	50	目黒本町6丁目	0	0	4	119	4	119
7	青葉台3丁目	1	145	1	119	0	-26	51	原町1丁目	0	0	0	0	0	0
8	青葉台4丁目	3	160	3	120	0	-40	52	原町2丁目	0	0	2	44	2	44
9	東山1丁目	0	0	2	77	2	77	53	洗足1丁目	4	101	5	233	1	132
10	東山2丁目	3	95	5	250	2	155	54	洗足2丁目	11	228	10	286	-1	58
11	東山3丁目	1	80	3	214	2	134	55	南1丁目	7	206	11	435	4	229
12	大橋1丁目	0	0	0	0	0	0	56	南2丁目	6	120	9	262	3	142
13	大橋2丁目	2	45	5	130	3	85	57	南3丁目	5	129	5	176	0	47
14	上目黒1丁目	0	0	0	0	0	0	58	碑文谷1丁目	5	166	9	531	4	365
15	上目黒2丁目	2	45	1	33	-1	-12	59	碑文谷2丁目	7	404	14	725	7	321
16	上目黒3丁目	0	0	8	300	8	300	60	碑文谷3丁目	4	271	10	386	6	115
17	上目黒4丁目	0	0	2	43	2	43	61	碑文谷4丁目	9	382	11	397	2	15
18	上目黒5丁目	4	175	6	348	2	173	62	碑文谷5丁目	4	216	13	827	9	611
19	中目黒1丁目	2	58	3	88	1	30	63	碑文谷6丁目	5	178	5	183	0	5
20	中目黒2丁目	0	0	0	0	0	0	64	鷹番1丁目	6	183	6	236	0	53
21	中目黒3丁目	1	30	3	98	2	68	65	鷹番2丁目	3	63	3	82	0	19
22	中目黒4丁目	2	170	4	169	2	-1	66	鷹番3丁目	2	54	4	120	2	66
23	中目黒5丁目	5	255	6	336	1	81	67	平町1丁目	6	150	4	107	-2	-43
24	三田1丁目	2	95	2	105	0	10	68	平町2丁目	5	207	8	319	3	112
25	三田2丁目	1	40	4	224	3	184	69	大岡山1丁目	0	0	9	312	9	312
26	目黒1丁目	0	0	5	189	5	189	70	大岡山2丁目	0	0	3	75	3	75
27	目黒2丁目	1	23	2	63	1	40	71	緑が丘1丁目	5	136	9	252	4	116
28	目黒3丁目	1	40	3	97	2	57	72	緑が丘2丁目	1	28	4	120	3	92
29	目黒4丁目	0	0	5	156	5	156	73	緑が丘3丁目	0	0	0	0	0	0
30	下目黒1丁目	0	0	3	82	3	82	74	自由が丘1丁目	2	86	5	167	3	81
31	下目黒2丁目	1	170	3	297	2	127	75	自由が丘2丁目	2	50	8	366	6	316
32	下目黒3丁目	1	27	1	27	0	0	76	自由が丘3丁目	1	43	4	149	3	106
33	下目黒4丁目	3	133	5	227	2	94	77	中根1丁目	5	129	8	226	3	97
34	下目黒5丁目	2	55	6	374	4	319	78	中根2丁目	0	0	3	116	3	116
35	下目黒6丁目	3	65	7	410	4	345	79	柿の木坂1丁目	1	26	11	311	10	285
36	中町1丁目	2	46	6	185	4	139	80	柿の木坂2丁目	9	247	15	493	6	246
37	中町2丁目	0	0	8	220	8	220	81	柿の木坂3丁目	2	40	4	109	2	69
38	五本木1丁目	4	125	8	263	4	138	82	八雲1丁目	0	0	0	0	0	0
39	五本木2丁目	3	122	8	260	5	138	83	八雲2丁目	1	35	4	151	3	116
40	五本木3丁目	3	69	3	113	0	44	84	八雲3丁目	3	158	9	375	6	217
41	祐天寺1丁目	3	106	4	131	1	25	85	八雲4丁目	6	184	11	296	5	112
42	祐天寺2丁目	0	0	0	0	0	0	86	八雲5丁目	2	63	11	367	9	304
43	中央町1丁目	2	115	4	177	2	62	87	東が丘1丁目	2	50	6	234	4	184
44	中央町2丁目	11	439	12	454	1	15	88	東が丘2丁目	5	127	7	206	2	79
区全体										226	8,256	469	18,402	243	10,146

生け垣の樹種と箇所数を表Ⅱ-6-2に示す。生け垣の樹種としては、カナメモチ、イヌツゲ、ヒイラギモクセイ、カイヅカイブキ、キンモクセイ、ツバキなどが主である。

生け垣の多くは異なる樹種を用いた混植が多く、また、高木を配置したものや最下層を植込みとして仕上げたものなど、多様な形態を示す。既存の生け垣（前回調査から引き続き確認されている生け垣）では、46樹種、204箇所、新設の生け垣（今回調査で新たに確認された生け垣）では、61樹種、406箇所となっており、新設の生け垣では多様な形態に変化している。

表Ⅱ-6-2 生け垣の主な樹種

既存生け垣		新設生け垣		全体	
樹種	箇所数	樹種	箇所数	樹種	箇所数
カナメモチ	39	カナメモチ	87	カナメモチ	126
カイヅカイブキ	18	ヒイラギモクセイ	35	イヌツゲ	50
イヌツゲ	15	イヌツゲ	35	ヒイラギモクセイ	48
ツバキ	14	ネズミモチ	33	カイヅカイブキ	46
ヒイラギモクセイ	12	キンモクセイ	29	キンモクセイ	38
キンモクセイ	9	カイヅカイブキ	28	ツバキ	38
サザンカ	9	ツバキ	24	ネズミモチ	37
サワラ	8	ツツジ	16	サザンカ	24
シラカシ	8	サザンカ	15	ツツジ	16
ウバメガシ	6	ドウダンツツジ	10	シラカシ	13
その他	66	その他	94	その他	174
小計	204	小計	406	合計	610

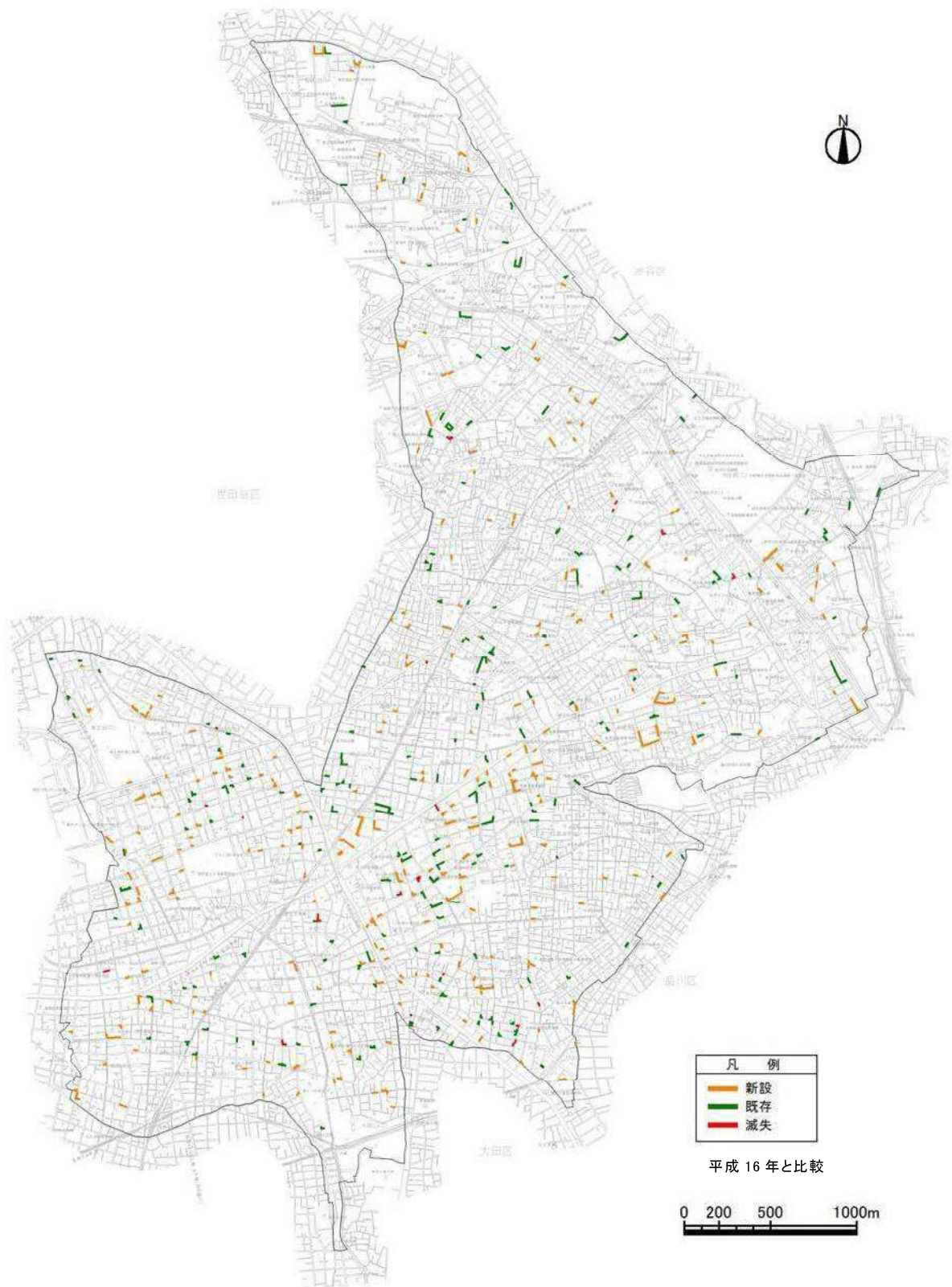
注) 混植があるので、箇所数合計は、生け垣箇所数と一致しない。

2. 生け垣の変化要因

前回調査から区全体の箇所数、総延長のいずれも2倍以上となっているが、その要因としては、住民の緑化に対する意識の高まり加えて、接道部緑化の助成制度の推進等が考えられる。(表Ⅱ-6-3)

表Ⅱ-6-3 接道部緑化の助成実績

みどりのまちなみ助成実績	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計	
接道部緑化	箇所	21	24	37	44	39	40	37	29	28	14	313
	延長(m)	435	239	387	428	394	304	340	188	174	131	3,020







図Ⅱ-6-1 生け垣分布図

3. 生け垣の事例

生け垣について、幾つか特徴的な事例を表Ⅱ-6-4に掲載する。

表Ⅱ-6-4 生け垣の事例

<p>新設</p>		<p>事例1. 洗足の共同住宅 建物に隣接した生け垣。 壁に近づけることで壁面緑化のように断熱効果をもたらす生け垣。</p>
<p>新設</p>		<p>事例2. 碑文谷の共同住宅 建物と一体化した植栽帯を設け、多様な樹種の樹木や草木が植えられている。 鑑賞的要素も持ち合わせている新しい生け垣形態。</p>
<p>既存</p>		<p>事例3. 祐天寺の個人宅 広い庭の緑につくられた生け垣。 直接、地面に植え込む伝統的な生け垣。 樹種はマサキ、すぐ内側にシラカシが配植されている。</p>
<p>既存</p>		<p>事例4. 目黒の共同住宅 駐車場と道路境に設けられた生け垣。植栽柵に植え込む形で外部から中が見えないように一定の高さにした機能的な生け垣。 樹種はカナメモチ。</p>

Ⅱ-7 壁面緑化調査

1. 壁面緑化の現況

	(H16)		(H26)
○壁面緑化の面積	98 m ²	→	604 m ²
○壁面緑化の箇所数	3 箇所	→	18 箇所

区内全域の一般住宅、共同住宅、民間施設を対象に、壁面緑化を調査した。

屋上緑化と比べ、壁面緑化は街の景観の向上や*1緑視効果が高いという特徴がある。こうした視点から、建物の壁を緑化すると同様な緑化手法に、コンクリートブロック塀の表面をみどりで覆うものや、擁壁、河川のコンクリート護岸の緑化などがある。(例：目黒川の護岸や大橋ジャンクション、都市計画道路補助19号の擁壁をツタ類で緑化している。)

今回調査と前回調査(2004(平成16)年度)における所在地(箇所)、面積の経年変化を表Ⅱ-7-1に示す。前回調査から箇所数で15箇所、面積で506m²の増加があった。

表Ⅱ-7-1 壁面緑化の経年変化

所在地	平成16年度調査		平成26年度調査		増減	
	箇所数	壁面緑化面積(m ²)	箇所数	壁面緑化面積(m ²)	箇所数	壁面緑化面積(m ²)
下目黒2丁目	0	0	2	82	2	82
下目黒3丁目	0	0	1	41	1	41
下目黒4丁目	0	0	1	33	1	33
上目黒3丁目	0	0	1	28	1	28
上目黒4丁目	0	0	2	90	2	90
青葉台4丁目	1	40	1	40	0	0
中町1丁目	0	0	1	7	1	7
中町2丁目	0	0	1	3	1	3
中目黒2丁目	0	0	1	9	1	9
目黒4丁目	1	18	0	0	-1	-18
東が丘1丁目	0	0	1	75	1	75
南3丁目	0	0	1	20	1	20
八雲1丁目	0	0	1	11	1	11
平町1丁目	0	0	1	42	1	42
緑が丘2丁目	1	40	3	123	2	83
合計	3	98	18	604	15	506

表Ⅱ-7-2 壁面緑化の助成実績

みどりのまちなみ助成実績	(件数)										
	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計
壁面緑化	0	0	1	1	6	2	1	2	1	2	16

*1 緑視：資料編 P.164 用語集(16)参照

2. 壁面緑化の変化要因

前回調査から箇所数、面積ともに増加したものの、壁面緑化については、屋上緑化と比べるとまだ社会的関心が低いという点、技術的課題、維持・管理の問題（壁面への影響、植栽基盤や適切な植物の開発、管理方法、コスト面等）もある。

また、増加には助成による効果もあるが、2004（平成16）年から2013（平成25）年度までの壁面緑化の助成実績は16件と、年1,2件に留まっている。（表Ⅱ-7-2）

3. 壁面緑化の事例

区内の良好な壁面緑化について、公共施設と民間施設の2事例を紹介する。（表Ⅱ-7-3）

表Ⅱ-7-3 壁面緑化の事例

	<p>公共施設（めぐろ歴史資料館）</p> <p>地面と壁に基礎鉄筋を造り、鉄線を網目状に取り付け、つる植物を這わせている。規模面積が大きく、建物の表面温度を抑えることが期待される。</p>
	<p>民間施設（個人住宅）</p> <p>道路側の壁に格子を設置し、ツルハマナスを這わしている。玄関などの出入り口では涼しげで歩行者にとっても安らぎを与えてくれる。</p>
	<p>河川護岸（目黒川）</p> <p>コンクリートの護岸表面をツタ類で緑化し、水辺環境の改善が期待される。</p>